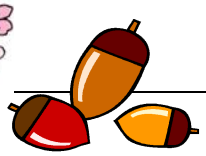


2026年度　進路だより

さくら咲く

第59号
2026.11. 10
札幌市立札苗北中学校
進路係　発行



推薦受験・自己推薦について理解を深めよう

１．推薦入学者選抜とは

「推薦入学者選抜」とは中学校長の推薦を得て受験する方法です。中学校長がその生徒に対して「学校として推薦するにふさわしい生徒」であると保証するということですから、入学後の責任は一般受験生よりもずっと重く、大きいということになります。もし、何かがおきた場合は本人のみならず、推薦した中学校やその後輩にまで影響が及ぶことがあります。従って、「推薦入学」で出願しようという場合は、学校内外の生活をしっかりと過ごさなければならないという厳しさが求められます。当然、「合格の内定」を受けた場合は、必ずその学校へ進学しなければなりません。

２．推薦に関する基本方針及び考え方

〈１〉高校推薦委員会は、本人及び保護者の申し出により、高等学校等に推薦入学を希望する生徒について、所定の校内推薦基準に適合し、かつ人物的に学校長の推薦に値するかどうかを公正かつ適切に審議し、推薦の可否を決定する。

〈２〉出願の動機及び理由、その学校や学科への適性、興味・関心及び学習意欲を十分検討したうえで推薦を決定し、安易な気持ちでの推薦入学は認めない。

〈３〉**札苗北中学校卒業生の代表**として高等学校入学後、学校生活全般における活躍が期待されることを前提に推薦の可否を決定する。

〈４〉推薦が決定した後に推薦生徒としてふさわしくない問題行動を起こした場合は、推薦の取り消しもあり得る。

〈注１〉私立高校のスポーツ等の活動実績による推薦については、本校部活動生徒であることを原則とするが、特待生制度に関わる場合等、事情に応じて個々に検討する。

〈注２〉特待生や奨学生に関する学校長の推薦についても、基本的考え方は同様とする。

３．校内選考の基準

本校における推薦基準の要件は、以下の通りです。

●高校推薦委員会の基準

高校推薦委員会では以下のⅠ及びⅡをもとに推薦の可否を総合的に判断する。

Ⅰ	上記「２」　推薦に関する基本方針及び考え方に合致する基準
Ⅱ	以下に述べられている各学校の推薦基準

＜私立高等学校＞

○出願先の高等学校を第一希望とし、合格したら必ず入学すること。また、他の私立高等学校を併願しないこと。

○各私立高等学校から提示された成績や出欠席等の基準を満たしていること。

○その他は総合的に判断する。

４．推薦入学出願生徒の決定

本校における推薦入学者選抜の取組としては、各高等学校等の出願資格・推薦基準に照らし、学級担任や教科担任及び部活動顧問、学年の意見を尊重しながら、高校推薦委員会で審議し、その結果を学校長に具申します。高校推薦委員会での審議の結果を受け、学校長の推薦が可能と判断された生徒が学校長面接を受け、その結果をふまえて推薦の可否が最終決定されます。従って、推薦出願依頼を申し出た生徒全員が推薦されるとは限りません。

〈推薦入学の受験資格が与えられるまで〉

①	保護者、生徒へ推薦受験についての説明	…11月５日（木）、10日（火）
②	推薦受験についての申し出	…11月11日（水）～11月16日（月）
③	推薦依頼書の提出	…11月20日（金）締切
④	学年審査	…11月下旬
⑤	校内推薦委員会審査	…12月上旬
⑥	校長面接	…12月上旬
⑦	推薦候補者の決定・通知	…12月中旬

5. 公立高校推薦受検（自己推薦受検）について

（1）対象学科および推薦による入学者の範囲

①全日制の課程

ア　農業に関する学科及び水産に関する学科においては、募集人員の50～90%程度の範囲の数において高等学校長が定める。

イ　普通科においては、募集人員の10～40%程度の範囲の数において高等学校長が定める。

ウ　その他の学科においては、募集人員の30～50%程度の範囲の数において高等学校長が定める。

②定時制の課程

募集人員の30%程度の数とする。

（2）出願資格

①全日制の課程

ア　令和９年３月末までに道内の中学校を卒業する見込みの者

イ　出願先高等学校のスクールポリシーを理解し、自らを各学校が示す「入学者の受入れに関する方針」に合うと考えている者で、出願する動機及び理由が明確であるもの

ウ　当該学科に関する適性、興味・関心及び学習意欲を有する者

②定時制の課程

ア　令和９年３月末までに道内の中学校を卒業する見込みの者

イ　出願先高等学校のスクールポリシーを理解し、自らを各学校が示す「入学者の受入れに関する方針」に合うと考えている者で、出願する動機及び理由が明確であり、自主的に学習できる強い意思を有するもの

ウ　普通科においては、特定分野などに対する適性、興味・関心及び学習意欲を有する者
　　普通科以外の学科においては、当該学科に対する適性、興味・関心及び学習意欲を有する者

（3）出願できる学科

ア　全日制の課程

　一つの高等学校の一つの学科に限るものとする。ただし、農業に関する学科、工業に関する学科、商業に関する学科又は水産に関する学科への出願にあたっては、出願しようとする高等学校に置かれている同一課程の同一大学科内の他の学科を第２志望とすることができる。（第３志望により出願することはできない）

イ　定時制の課程

　一つの高等学校の一つの学科に限るものとする。ただし、出願しようとする高等学校に置かれている同一課程の同一大学科内の他の学科がこの要項の対象学科となっているときは、そのうちの一つの学科を第２志望とすることができる。（第３志望により出願することはできない）

6. 推薦受験、自己推薦受検の校内受付について

推薦希望者の校内受付（めど）　11月11日(水)～11月16日(月)

⇩

◆　本人及び保護者で十分に相談のうえ、推薦での受験を希望する場合は「推薦依頼の申し出」を担任にしてください。（本人と保護者の両方が申し出る。保護者の方は電話で結構です）公立高校の自己推薦の場合は、本人からの申し出で構いません（保護者の方からもお電話いただけると助かります。）。

「推薦依頼の申し出」をした生徒には「推薦依頼書」、公立推薦の場合は「自己推薦書」を
※北海道教育委員会「道立高等学校入学者選抜の手引」参照
配付しますので、11月20日（金）までに記入して提出してもらいます。

◆11月17日(火)の放課後に自己推薦希望者に「自己推薦書」についての対する指導を行う予定です。
「自己推薦書」はパソコン等により、入力することも可能ですが、欄の大きさ等の変更の禁止等制約が多いので、**清書は手書き**で記入して提出してください。

※推薦依頼書（学校長推薦希望者が記入）

・・・出願する動機や理由、高校生活での目標、高校卒業後の進路などについての考えや、部活動・生徒会・特別活動など中学校での実績、保護者のご意見などを記入します。
（提出された推薦依頼書は、推薦委員会での審査に使用します）